

# 下地島宇宙港事業

## ①事業の進捗状況

<利活用事業者>

PDエアロスペース(株)(愛知県名古屋市)  
※当該法人が別途設立する法人も含む

### ①無人/有人機技術実証事業

- 無人飛行実験機(X06)の開発実験を実施。(通信試験、地上滑走試験、飛行試験など)R5年6月 無人飛行実験機の初飛行にて、通信不良が発生。自動飛行停止機能で着水へ。
- 拠点化整備として、旧JAL器材庫を実験機の整備場に、旧JAL棟1階部を事務オフィスとして運用。
- SAFCO、SASCO、SAMCOなど、空港既存各社と業務連携。



### ②テナント事業

- 次期飛行実験機(X07)用ハンガーの設計が完了。“開発行為”該当有無の確認中。
- 下地島宇宙港の利用希望企業(海外1社)とMOU(了解覚書)を締結。国内企業とも調整中。

### ③訓練事業

- 導入設備の検討開始。
- 事業スタートに向けて、連携先と調整開始。(メディカル検査など)

### ④観光事業

- 旧JAL器材庫を用いたイベント、企画等を実施。(空の日イベント、開港記念イベントなど)
- R3年6月に「下地島宇宙港事業推進コンソーシアム」を設立。 ※登録企業数:64社

## ②事業の実績

下地島空港からの		宇宙旅行者数>	
	目標	実績	
○令和7年度	100人	—	
○令和12年度	1,000人	—	

<事業スケジュール>※参考

当初目標	予定(実施)
令和3年	令和5年 無人実験機X06の飛行試験(実施)
令和3年	令和7年 ハンガー建設
令和5年	令和7年 テナント事業、訓練事業、観光事業本格受入開始

## ③事業の進捗評価

### 下地島空港からの宇宙旅行者数

目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)	進捗評価※
目標設定年次前。事業スケジュールに遅れが生じており、今後見直予定			

※90%以上:順調、75%以上90%未満:概ね順調、60%上75%未満:やや遅れ、60%未満:大幅遅れ

## ④今後の取組

令和6年度は次期実験機(X07)の開発へ移行する。  
ハンガー(格納庫)の建設に着工しつつ、施設や実験環境を活用した開発支援・利用などテナント事業に取り組む。また、コンソーシアム企業と連携して観光事業に着手する。

## 県による事業レビュー

無人飛行技術実証機(X06)の着水等により、計画の遅れが生じているため、成果目標、履行状況が大幅な遅れとなっている。そのため、改善策の検討や、事業計画の改定が必要である。

ハンガーの建設については、構内道路も整備されており、着手可能の状況であることから、今後の計画実施に向けて、着実に取組むことが必要である。